

令和2年度事業報告 旧小澤家住宅

○ 新潟市文化財旧小澤家住宅

33,401,076 円

1 文化事業 2,087,048 円

指定管理の受託事業者として旧小澤家住宅の設置目的に基づき、常設展示とともに企画展事業や教育普及事業などを積極的に開催し、来館者の増加に努めた。

なお、事業の開催に当たってはボランティアの皆さんからガイドを行っていただいた。

【旧小澤家住宅の設置目的】

市文化財に指定された旧小澤家住宅を活用し、みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する。

(1) 常設展示・企画事業 710,199 円

【常設展示】

旧小澤家住宅の概要と小澤家の来歴、そして「みなとまち新潟」の歴史や生活文化について、グラフィックパネルで紹介した。

11月14日（土）には開館以来の延べ来館者数15万人を達成し、15万人目のお客様にプレゼント（新潟漆器の菓子皿）をお渡しするセレモニーを行った。

【企画事業】

旧小澤家住宅の雰囲気と風合いに合わせた日本の伝統的な工芸品展などを開催した。

① 桜井進一氏写真展「新潟むかし：昭和の記憶・他門川」

桜井進一氏が撮影した他門川の写真を展示紹介し、往事の姿を回顧した。

開催期間 令和2年4月4日（土）～4月19日（日）

令和2年5月12日（火）～5月31日（日）

※5月10日までの予定であったが、4月20日から5月11日まで閉館していたため延長した。

観覧者数 299人（有料観覧者261人、無料観覧者38人）

② ミニ企画展「端午の節句飾り」展

小澤家に伝わる端午の節句飾りを展示した。

開催期間 令和2年4月7日（火）～4月19日（日）

令和2年5月12日（火）～6月3日（水）

※4月25日から5月6日までの予定であったが、閉館等にあわせて日程を調整した。

観覧者数 288人（有料観覧者250人、無料観覧者38人）

③ 「和時計」展

時香盤や和時計を展示し、日本の時計について紹介した。

開催期間 令和2年5月23日(土)～6月14日(日)
観覧者数 314人(有料観覧者263人、無料観覧者51人)
協力：新潟ハイカラ文庫

④「着物」展

小澤家で使用された着物や和装品を展示紹介した。

開催期間 令和2年6月20日(土)～7月19日(日)
観覧者数 586人(有料観覧者478人、無料観覧者108人)
協力：大嶋屋

⑤「みんなの問題・海のごみ」展

一般社団法人JEAN所蔵の海ゴミ問題啓発に関する写真パネルを展示した。

市内でビーチコーミングをされている方からお借りした、新潟の浜で拾える漂着物の展示も行った。

開催期間 令和2年7月18日(土)～8月2日(日)
観覧者数 399人(有料観覧者340人、無料観覧者59人)
協力：一般社団法人JEAN

⑥「うちわ」展

夏にあわせて、当館所蔵のうちわを展示紹介した。

開催期間 令和2年7月25日(土)～8月30日(日)
観覧者数 670人(有料観覧者582人、無料観覧者88人)

⑦ 夏の寝間展示

夏にあわせて、寝室であった寝間に蚊帳を吊って演出・展示した。

開催期間 令和2年8月8日(土)～8月23日(日)
観覧者数 308人(有料観覧者268人、無料観覧者40人)

⑧「ふろしき」展

むかしの道具の一つとして「ふろしき」を取り上げ展示した。

開催期間 令和2年9月5日(土)～9月27日(日)
観覧者数 703人(有料観覧者633人、無料観覧者70人)
共催：大嶋屋

⑨「新潟仏壇工芸・越後生紙」展

当市の伝統的工芸品の一つ「新潟・白根仏壇」から「新潟仏壇」を展示した。また、県内の手漉き和紙職人による組合「越後生紙振興組合」と共催し、県内の各所に伝わる様々な和紙制作技法を紹介した。

開催期間 令和2年10月17日(土)～11月8日(日)
観覧者数 1,386人(有料観覧者861人、無料観覧者525人)
共催：新潟仏壇組合、越後生紙振興組合

⑩ ボランティア企画「新潟の新聞」展

当館ボランティアスタッフ有志とともに、資料整理をしながら明治期以降の新潟県内の

新聞を展示した。

開催期間 令和2年11月14日(土)～12月13日(日)

観覧者数 1,295人(有料観覧者1,114人、無料観覧者181人)

⑪「羽子板」展

新年にあわせて、当館所蔵の羽子板を展示紹介した。

開催期間 令和2年12月19日(土)～令和3年1月17日(日)

観覧者数 199人(有料観覧者166人、無料観覧者33人)

⑫「ひな人形とからくり人形」展

当館及び新潟ハイカラ文庫所蔵の古式雛とからくり人形を展示した。

開催期間 令和3年2月20日(土)～3月21日(日)

共催：新潟ハイカラ文庫

観覧者数 1,002人(有料観覧者866人、無料観覧者136人)

(2) 教育普及事業 256,516円

旧小澤家住宅を通して新潟の歴史や文化に関する「学び」と「楽しみ」を提案するため、様々な催し物の開催とともに体験学習を実施した。

① 庭園講習会・・・6月27日(土)

夏場の庭木の手入れについて、当館庭師による講習会を実施した。

② ふろしき講座・・・9月5日(土)、6日(日)

「ふろしき」展の関連企画として、ふろしきの活用講座を実施した。

③ 古文書講座初級編・・・10月7日(水)・9日(金)・14日(水)・16日(金)・21日(水)
23日(金)・11月11日(水)・13日(金)・18日(水)・20日(金)

本井晴信氏を講師に迎え、古文書の初心者向け講座を実施した。参加者の要望に応え、補講も2クラス2回ずつ追加実施した。

④ 新潟仏壇工芸ワークショップ・・・10月24日(土)、25日(日)、11月1日(日)、3日(火)

「新潟仏壇工芸」展・「越後生紙」展の関連企画として、伝統工芸士による蒔絵実演、職人指導によるワークショップ(金具打ち・蒔絵塗)を開催した。

⑤ クリスマスのスワッグ作り・・・12月6日(日)

壁に飾れるクリスマスの飾り作り教室を開いた。

⑥ お正月の苔玉作り・・・12月12日(土)

お正月飾り用の苔玉の製作教室を開いた。

⑦ 稲穂で作る正月飾り・・・12月13日(日)

稲穂などの自然の素材を使った正月飾り作りの教室を開催した。

⑧ 百人一首大会・・・2月10日(水)

日和山小学校の4年生を招いて、百人一首のかかるた取り大会を開催した。

⑨ 稲わらでつくるひな人形・・・2月21日(日)

「ひな人形とからくり人形」展の関連企画として、稲わらを使ったひな人形作りの教室

を開催した。

⑩ ボランティアガイド事業

旧小澤家住宅のボランティアガイドとともに新聞資料の整理を行い、ボランティア企画展「新潟の新聞」展を開催した。

※7月に予定していた宿泊体験、9月に予定していた「秋の酒づくり」、2月27日・28日に予定していた「からくり人形の実演」、3月に予定していた「春の酒づくり」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。

(3) 施設普及事業 792,333 円

旧小澤家住宅での様々な楽しみ方を提案するため、時候に合わせた「しつらい」とともに催し物を実施した。

また、事業取組の参考とするため、来館者ニーズのアンケート調査を実施した。

① 応接セットの展示・・・5月12日（火）～6月3日（水）

藤の間に応接セットを展示し、応接間として使われていた往事の姿を再現した。

② 山野草の展示・・・5月12日（火）～22日（金）

旧小澤家住宅の風合いを来館者から楽しんでもらうため、通り土間にさまざまな山野草を展示した。

協力・花や木下

③ 蛙まつり・・・6月6日（土）～7月19日（日）

6月6日の「かえるの日」と梅雨にあわせて、職員ら有志が持ち寄った蛙をモチーフにした置物、ぬいぐるみ、手拭いや絵本などを展示した。

④ 夏至祭ミニ～こころばかり～・・・6月21日（日）

夏の町家の雰囲気由来館者から楽しんでもらうため、夏至の日に合わせて飲食の提供や物販、ゲリラライブを行った。なお、和服での来館者は入館料を無料とした。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当初予定していた2日間から1日限りのミニ版に変更して開催した。

共催・Bar Book Box

④ おやつの日（7月）・・・7月23日（木・祝）

町のにぎわいを絶やさないことを目的に、市内の飲食店を招いておやつの販売を行った。海の日にあわせて、オリジナルグッズが当たるくじ引きも開催した。

新潟漆器の実演販売も行った。

⑤ おやつの日（8月）・・・8月29日（土）

市内の飲食店を招いておやつの販売を行った。

唄と三味線の踊りのゲリラライブも開催した。

⑥ おやつの日（9月）・・・9月22日（火・祝）

市内の飲食店を招いておやつの販売を行った。

唄と三味線と踊りのゲリラライブも開催した。

- ⑦ おやつの日（10月）・・・10月17日（土）
市内の飲食店を招いておやつの販売を行った。
小澤家オリジナルコーヒーの販売も行った。
- ⑧ 秋のミニ文化祭・・・11月23日（月・祝）
秋の町家の雰囲気を楽しんでもらうため、文化祭を開催し、飲食の提供や物販を行った。例年行っている夜間開館・ライトアップ・ワークショップ・ライブハウスなどは新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮して中止し、「ミニ文化祭」として縮小版で開催した。
- ⑨ おやつの日（12月）・・・12月6日（日）
市内の飲食店を招いておやつの販売を行った。
- ⑩ 花で彩る・・・1月9日（土）～17日（日）
お正月をテーマに、土間にフラワーアレンジメントを展示した。
- ⑪ フラワーアレンジメントワンディレクشن・・・1月10日（日）
「花で彩る」の関連企画として、フラワーアレンジメントの製作体験を開催した。
- ⑫ おやつの日（1月）・・・1月16日（土）
市内の飲食店を招いておやつの販売を行った。
唄と三味線と踊りのゲリラライブも開催した。
- ⑬ おやつの日（2月）・・・2月14日（日）
市内の飲食店を招いておやつの販売を行った。
唄と三味線と踊りのゲリラライブも開催した。
- ⑭ 箏の演奏会・・・3月6日（土）
旧小澤家住宅の春の雰囲気を来館者から楽しんでもらうため、「ひな人形とからくり人形」展の関連企画として箏の演奏会を開催した。
- ⑮ おやつの日（3月）・・・3月14日（日）
市内の飲食店を招いておやつの販売を行った。
唄と三味線と踊りのゲリラライブも開催した。
- ※5月10日（日）に予定していた「藤見煎茶会」、初夏に予定していた「新潟甚句・佐渡おけさ『新潟の踊り講習会』」、12月20日に予定していた「年忘れ煎茶会」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。

(4) 調査研究事業 1,000 円

みなとまち新潟に対する市民の理解を深めるため、小澤家文書や小澤家より寄贈された資料を調査し、その成果を「小澤家ゆかりの品々」展で紹介した。

「旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会」に、賛助会員として参加した。令和2年11月、旧小澤家住宅周辺地区が新潟市景観計画の特別区域に指定された。

(5) 収蔵資料保存管理事業 327,000 円

資料の仮整理・収蔵作業を行った。

2 文化施設管理受託事業 31,314,028 円

指定管理の受託事業者として新潟市文化財旧小澤家住宅の適正な維持管理運営を行い、来館者および利用者へのサービスの向上に努めた。

※ 令和2年度 旧小澤家住宅入館者数

11,544 人（対前年度比 74.0%）

主に新型コロナウイルス感染拡大の影響により減少した。

○ 旧小澤家住宅の 付帯事業 108,670 円

旧小澤家住宅では、新潟漆器、ふろしき、書籍などを委託で販売し、季節に合わせてこまめに商品の入れ替えを行っている。

当館はオリジナル商品として、箸置き、つま楊枝、お菓子、手ぬぐい、トートバッグ、Tシャツなどの開発・販売にも力を入れ、令和2年度からはオリジナルマスクの販売を始めた。